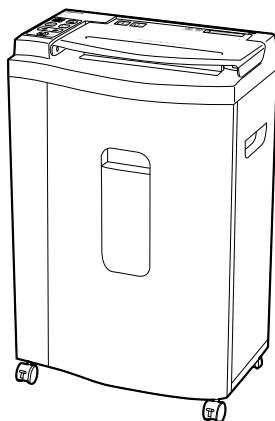


Asmix

MicroCut Auto-feed Shredder

マイクロカットオートフィード シュレッダー

品番 **S49MF** 取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」(1、2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に
必ず保存してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕 様			
定 格 細 断 枚 数	A4コピー用紙(68g/m ²)6枚(50/60Hz)	操 作 機 能	主電源スイッチ・電源スイッチ オートスタート&ストップ機構 自動停止安全スイッチ 逆転スイッチ・手動細断スイッチ フィーダーカバーロック
オートフィードセット枚数	180枚		
細 断 寸 法	2.0×15mm マイクロカット		
ダストボックス容量	約21ℓ (A4コピー用紙6枚ずつ細断時、約390枚)		
細 断 速 度	約2.0/2.4m/分(A4コピー用紙1枚時・50/60Hz)	給 紙 口 幅	221mm
定 格 使 用 時 間	10分間	コ ー ド の 長 さ	約1.5m
定 格 休 止 時 間	45分間	使 用 電 源	AC100V(50/60Hz)
		消 費 電 力	180W(50/60Hz)
		外 形 寸 法	W370×D239×H582mm (組合せ時、突起部含まず)
		質 量	約10.1kg(組合せ時)
制 御 機 能	オートリバース機構・温度ブレーカー・警告ランプ 過電流保護機構・細断肩満杯センサー 手差し/フィーダー同時細断防止機構	付 属 品	取扱説明書・保証書

※細断枚数の「定格」は環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。

株式会社**アスカ**

カスタマーサービスセンター TEL.03-5690-9412

受付時間:AM10:00～12:00/PM1:00～5:00 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

2015年11月 第2版

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

 この記号は、してはいけないこと「禁止」内容です。

 この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



子供使用禁止

子供の手の届く所で
使用しない
けがをする恐れがあります。



分解禁止

絶対に分解したり
修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
※修理は販売店へご相談ください。



手を入れるな

給紙口や排出口に
指を入れない
けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、
重いものを載せたり、束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。



衣類巻き込み注意

給紙口にネクタイ、
ネックレス、衣類などを
近づけない
引き込まれて、けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードが破損した時は、
ご自身で修理しない
ショート・感電・火災の原因になります。
※修理は販売店へご相談ください。



髪の毛巻き込み注意

給紙口に髪の毛を
近づけない
引き込まれて、けがをする恐れがあります。



強制

お手入れの時は、
必ずプラグを抜く
感電の原因になります。



可燃スプレー厳禁

エアダスターで細断屑の
除去を絶対にしない
可燃性の高圧ガスに引火し
爆発します。



水ぬれ禁止

水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



100V以外禁止

交流100V以外の電圧で使用しない
感電・火災の原因になります。

注意



禁止

本体を熱器具に
近づけない
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



禁止

紙詰まりの状態で、
電源スイッチを入れたまま
放置しない
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

プラグをぬれた手で
抜き差ししない
感電の原因になります。



強制

細断屑を捨てる時、お手入れ
の時、使用後には必ず主電源
スイッチを「切」にし、
プラグをコンセントから抜く
けがをする恐れがあります。



強制

プラグは根元まで確実に
差し込む
感電・火災の原因になります。



強制

ダストボックスを
出し入れする時は、
指をはさまない
ように注意する
けがをする恐れがあります。



強制

移動させる時は、
プラグを抜く
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



禁止

細断中はダストボックスを
出し入れしない
けがをする恐れがあります。



強制

プラグを抜く時は、
電源コードを引っ張らず、
プラグを持って抜く
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



禁止

湿気や水気のある所で
使用しない
ショート・感電の原因になります。



禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない
けがをする恐れがあります。



強制

長時間使用しない時は、
プラグを抜く
事故や感電・火災の原因になります。



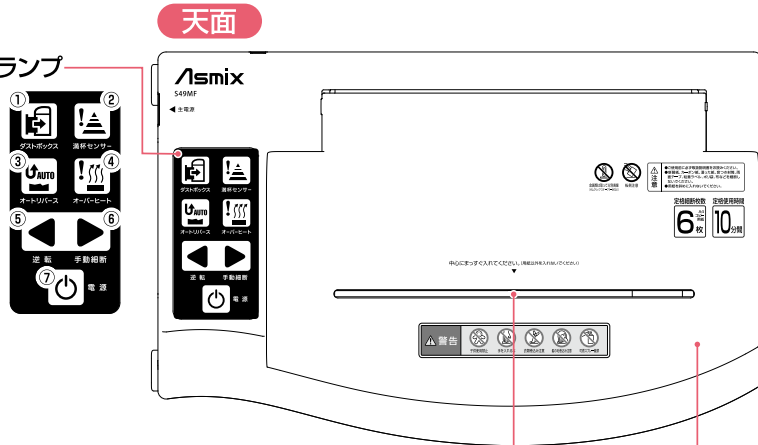
禁止

シンナーやベンジンで拭いたり、
殺虫剤をかけない
ショート・感電・火災の
原因になります。

各部の名称

スイッチパネル警告ランプ

- ① ダストボックスランプ
- ② 満杯センサーランプ
- ③ オートリバースランプ
- ④ オーバーヒートランプ
- ⑤ 逆転スイッチ
- ⑥ 手動細断スイッチ
- ⑦ 電源スイッチ(ランプ)



左側面

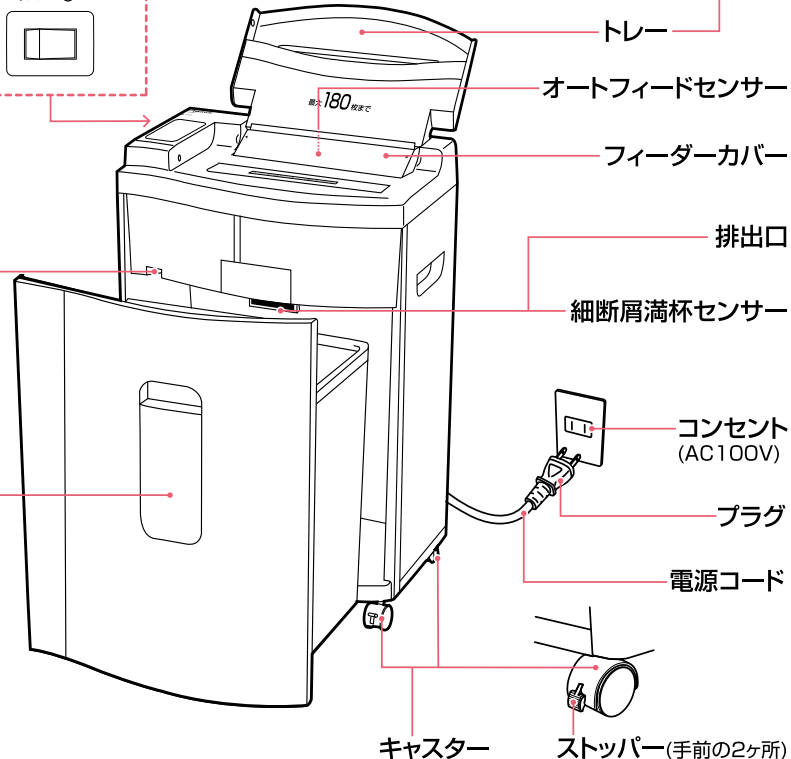
主電源スイッチ

主電源
I 入 O 切



自動停止
安全スイッチ

ダスト
ボックス

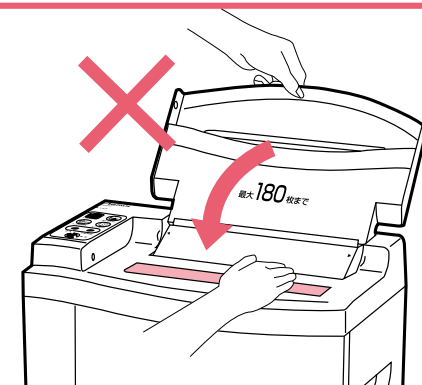


設置方法

- ① ダストボックスを本体の中にしっかり入れます。
- ② 水平な場所に設置し、キャスターのストッパー（手前の2ヶ所）をかけます。
- ③ プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ダストボックスを本体の中にしっかり入れないと、自動停止安全スイッチが作動し、細断できません。
- トレーを開けたままの状態では天面に物や手載せたまま、トレーを閉じないでください。故障の原因になります。
- 移動時以外は、必ずストッパー（手前の2ヶ所）をかけてください。
- 直射日光は避けてください。変形・故障の原因になります。



スイッチの使い方

主電源スイッチ 入/切

主電源スイッチを「入」にすると電源が入ります。しばらく使用しない時は、主電源スイッチを「切」にし、プラグをコンセントから抜いてください。細断屑を捨てる時や本体の移動はこの状態で行ってください。



電源スイッチ

電源が「ON」の時、電源ランプが点灯します。押すたびに本体の電源がON/OFFします。



逆転スイッチ

「逆転」スイッチを押している間、強制的に刃が逆回転し、オートリバースランプが点滅します。細断を中止する時や詰まった紙が取り出せない時に使用します。

※逆回転はスイッチを押してから数秒後に作動します。



手動細断スイッチ

「手動細断」スイッチを押している間、強制的に刃が正回転します。



警告機能

ダストボックスランプ

ダストボックスが本体から離れると自動停止安全スイッチが作動し、点滅します。トレーが半開きの時やフィーダーカバーが開いている時も点滅します。



満杯センサーランプ

細断屑満杯センサーが細断屑に反応すると、点滅します。



オートリバースランプ

給紙口に細断屑が詰まった時、点滅して刃が自動的に逆回転して押し出します。逆転スイッチを押している間も点滅します。



オーバーヒートランプ

長時間の細断やモーターに負荷がかかり過ぎてモーターの温度が上昇した時、温度ブレーカーが作動し、点滅します。



安全装置

安全装置	こんな時	解除方法
自動停止安全スイッチ	フィーダーカバーが開いている時、トレーが半開きの時、細断屑を捨てる時など本体とダストボックスが離れると、ダストボックスランプが点滅します。	フィーダーカバーを閉じて、トレーを定位置にしてください。ダストボックスを本体の中をしっかり入れてください。
細断屑満杯センサー	細断屑満杯センサーが細断屑に反応すると、満杯センサーランプが点滅します。	紙断屑を捨ててから再度細断してください。
オートリバース機構	斜めに入れたり、一度に多量の紙を入れて細断物が詰まった時、オートリバースランプが点滅し、刃が自動的に逆回転して押し出し、停止します。停止後、オートリバースランプは点灯します。	紙を取り出してください。紙を取り出すとオートリバースランプが消え、数秒間正回転し、停止します。定格細断枚数に減らして細断していない方向から再度細断してください。
	連続して細断すると、自動で約3分間に1回、クリーニング作業として約2秒間オートリバースします。	自動的に細断を開始しますので、そのままご使用ください。
温度ブレーカー	長時間使用した場合、モーターの温度が上昇し、自動的に作動が停止して、オーバーヒートランプが点滅します。	主電源スイッチを「切」にし、モーターの温度が下がるまで約45分間休ませてから再開してください。
手差し/フィーダー同時細断防止機構	手差し細断中はトレーの開閉をしようとしても、手差し/フィーダー同時細断防止機構が作動し、トレーは開きません。	トレーは細断が終わってから開いてください。

故障の原因となるため、絶対にお守りください

細断禁止物

以下に表記のものは細断禁止物です。

ダンボール・厚紙・和紙等の柔らかい紙・布
シールや運送会社の送り状等・粘着剤付きの紙・ビニール
ラミネートされた紙・透明の封筒や窓つき封筒・ゼムクリップ
ステープラー針・CD/DVD・金属類・プラスチック類・湿った紙・新聞紙

オートフィードはA4、B5サイズのコピー用紙以外は細断できません。

注1) コピー用紙の場合

定格細断枚数

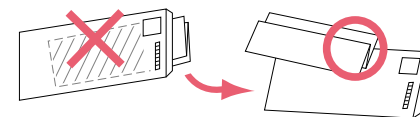
手差し細断で一度に細断できる枚数です。

A4コピー用紙……………6枚

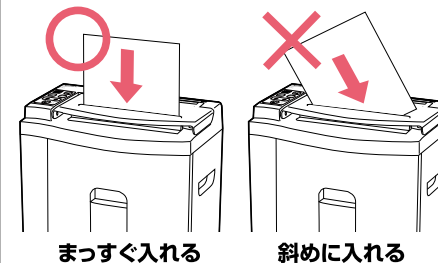


※折った紙はオートフィードで細断しないでください。
※針なしステープラーを使用した紙はそのまま細断できません。1枚ずつほぐしてから枚数を確認して入れてください。

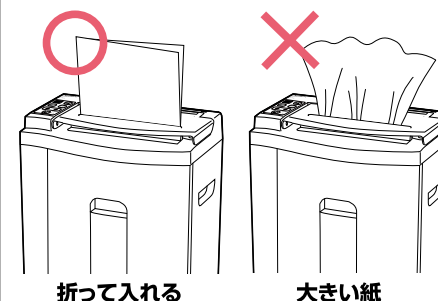
注2) DMやカタログの入ったままの厚い封筒を細断しないでください。(細断枚数過剰および細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に細断してください。)



注3) 紙は給紙口の中央にまっすぐ入れてください。(斜めに入れると紙詰まりの原因になります。)

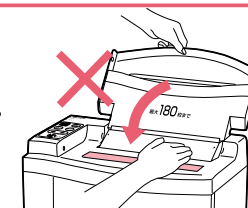


注4) 給紙口より大きい紙は、折って入れてください。(折った時に定格細断枚数以上にならないようにします。)



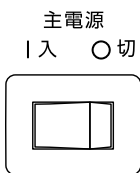
トレーが開いてる状態で天面に物や手を載せたまま、トレーを閉じないでください。

細断中にトレーの開閉はしないでください。



手差し細断の仕方

- ① 主電源スイッチを「入」にします。

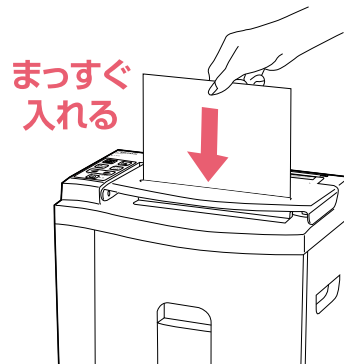


- ② スイッチパネルの電源スイッチを押します。



- ③ 細断したい紙を給紙口に入れると、自動的に細断を開始し、細断後自動的に停止します。

細断中にトレーを開こうとすると「手差し/フィーダー同時細断防止機構」が作動し、トレーは開きません。

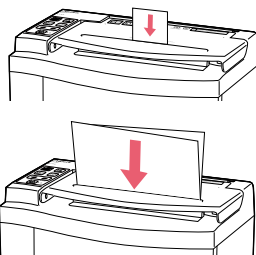


- ④ 細断が終わったら電源スイッチを押します。

- ⑤ しばらく使用しない時は主電源スイッチを「切」にします。

お願い

- **定格使用時間は10分間です。(定格細断枚数を細断した時)**
 ・ 定格使用時間とは、定格細断枚数を連続して細断可能な時間のことを表しています。
 ・ 10分間以上細断する時は、一度主電源スイッチを「切」にし、**約45分間**休ませてから細断してください。
- 湿度が高い時や、紙質によっては、定格細断枚数であっても細断できない場合があります。その時は、細断枚数を減らしてください。
- 細断禁止物や定格枚数以上のコピー用紙を細断すると故障の原因になります。投入する細断物には十分ご注意ください。
- 小さい紙は、オートスタート&ストップ機構が作動する中央に入れてください。
- 給紙口の幅より**大きい紙**は、折って入れてください。



紙が詰まった時

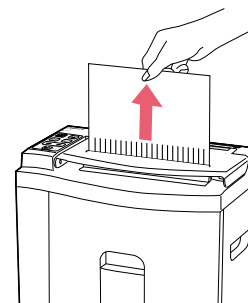
- ① 主電源スイッチを「切」にし、必ずプラグをコンセントから抜き、ダストボックスの細断屑を捨ててください。

(P.11「細断屑の捨て方」を参照)

- ② ダストボックスを本体の中に入れ、プラグをコンセントに差し、主電源スイッチを「入」にします。

- ③ スイッチパネルの電源スイッチを押します。

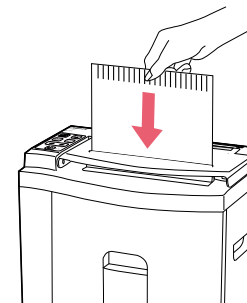
- ④ 「逆転」スイッチを押しながら噛み込んでいる紙を刃から取り出してください。



- ⑤ 紙を取り出したら、数秒間「手動細断」スイッチを押して刃を空回転させ、刃についている細断屑を落としてください。



- ⑥ 細断枚数を減らし、細断していない方向から、再度細断してください。



一度で取り出せない場合

一度で取り出せない場合は「逆転」スイッチと「手動細断」スイッチを繰り返し押し、取り出してください。

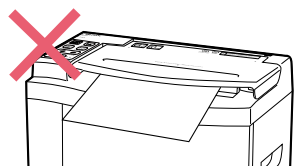
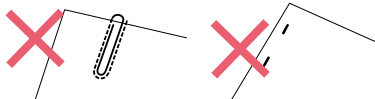
注)「逆転」スイッチと「手動細断」スイッチを交互に押す時は、必ず1秒以上間隔を空けてください。
 間隔を空けないとモーターやギアに負荷がかかり破損することがあります。

注)「一度で取り出せない場合」を数回行っても紙が取り出せない時は、オートスタート&ストップ機構を破損する恐れもありますので、P.14「保証とアフターサービス」をお読みいただき、修理をご依頼ください。

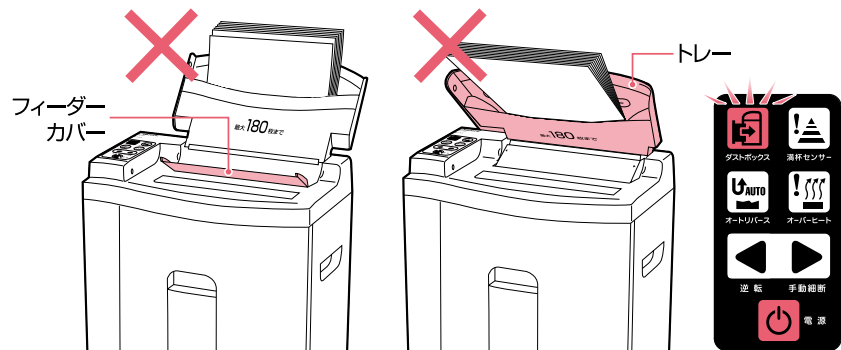
オートフィードについてのお願い

よくお読みください。

- オートフィード細断はA4、B5サイズのコピー用紙専用です。
それ以外の紙は手差し細断で細断してください。
(P.6「故障の原因となるため、絶対にお守りください」とP.7「手差し細断の仕方」を参照)
- 折った紙や、A4、B5サイズ以外の紙、規定枚数以上のセットや、細断途中の継ぎ足しはしないでください。故障の原因になります。
- ゼムクリップ、ステープラーの針等は必ずはずしてからセットしてください。
- 針なしステープラーを使用した紙はそのまま細断できません。
1枚ずつほぐしてからセットしてください。
- 手差し細断とオートフィード細断は同時に使用できません。
- ダストボックスが空の状態、細断すると、途中で満杯センサーランプが点滅し、細断の途中でも自動的に停止します。続けて細断する場合は、ダストボックス内の細断屑をならすか、捨ててください。
- 細断の途中で自動的に作動が停止してオーバーヒートランプが点滅しましたら、主電源スイッチを「切」にし、モーターの温度が下がるまで約45分間休ませてから再開してください。
- オートフィードで細断中は、トレーを閉じないでください。
細断が終わり、停止してから閉じてください。
故障の原因になります。

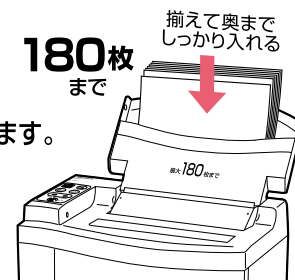


フィーダーカバーがしっかり閉じていなかったり、トレーがしっかり開いていない状態では、ダストボックスランプが点滅し、シュレッターは作動しません。

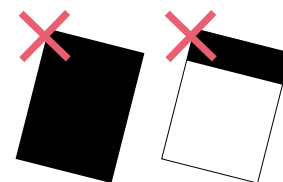


オートフィードでの細断の仕方

- ① 主電源スイッチを「入」にし、電源スイッチを押します。
- ② トレーを開きます。
- ③ 細断する紙を揃えて、トレーの奥までしっかり差し込みます。
一度にセット出来る枚数はA4コピー用紙180枚までです。
- ④ 数秒後、数枚ずつ紙送りされ、自動的に細断していきます。
- ⑤ 細断終了後、自動的に停止します。



- 紙をセットした状態で、何らかの理由で紙が送られないようになると、逆回転し、自動的に停止します。
その場合はセットしてある紙をはずし、紙を揃えて入れ直してください。
※フィーダーカバーを開け、中に紙が残っていないか確認してください。
折れ、しわ、やぶれのある紙は手差し細断を使用してください。

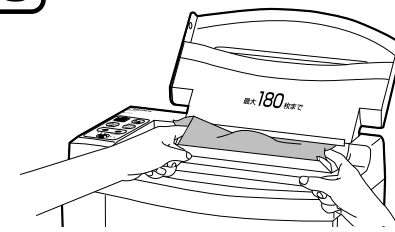
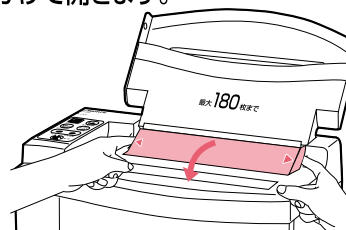
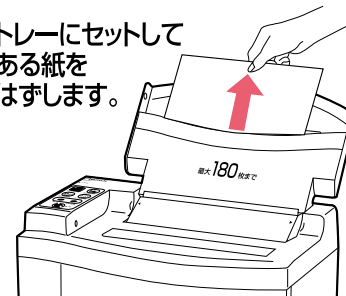


- 色の濃い紙は、オートフィードセンサーが、紙を感知する事が出来ず、オートスタートしない事があります。
その場合は手差し細断で細断してください。(P.7「手差し細断の仕方」を参照)

※オートフィードセンサーに紙の色の濃い部分が来ると感知できません。

オートフィード使用時に紙が詰まった時

- ① トレーにセットしてある紙をはずします。
- ② 主電源スイッチを切り、フィーダーカバーの左右にある◀▶マークに指をかけて開きます。
- ③ 詰まった紙を取り出してください。
- ④ フィーダーカバーを閉じます。取り出した紙は、手差し細断で細断してください。(P.7「手差し細断の仕方」を参照)

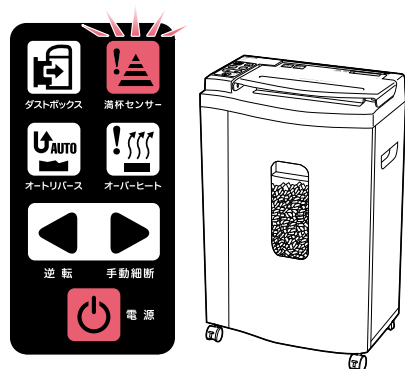


※一度に取り出せない時はP.8「紙が詰まった時」をお読みください。

細断屑の捨て方 細断屑はこまめに捨ててください。

- ① 細断屑満杯センサーが細断屑に反応すると、満杯センサーランプが点滅します。

細断の途中でも自動的に停止します。

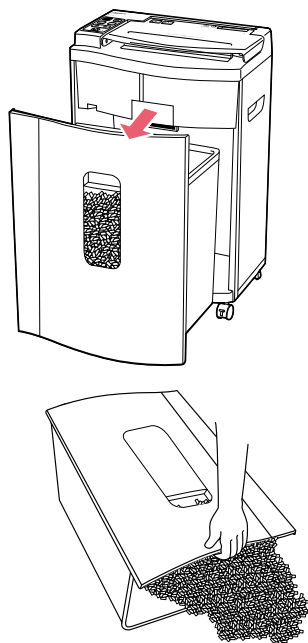


- ② 主電源スイッチを「切」にし、必ずプラグをコンセントから抜いてください。

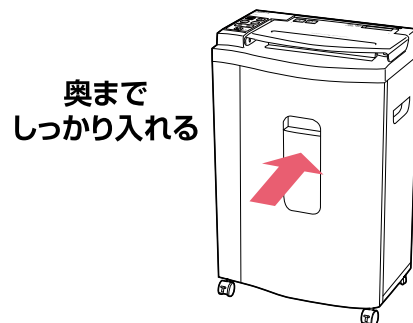
主電源スイッチ



- ③ ダストボックスを本体から引き出し、細断屑を捨ててください。



- ④ ダストボックスを本体に戻してください。



お手入れの仕方

- 乾いた柔らかい布で、カラ拭きしてください。
- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布に少しつけて拭き、その後乾いた布で拭きとってください。
(シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やクレンザーなどの研磨剤は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。)

お願い

- けがをする恐れがありますので、お手入れの際は必ずプラグをコンセントから抜いてください。

故障かな?と思われた時

修理を依頼される前に本取扱説明書をよくお読みいただき、ご使用方法に間違いがないかを確認ください。

こんな時は	チェック	処 置
刃が回転しない	プラグがコンセントからはずれていませんか?	プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	電源スイッチランプが点灯していますか?	主電源スイッチ/電源スイッチを入れてください。
	紙が刃に詰まっていますか?	紙を取り出してください。(P.8「紙が詰まった時」または、P.10「オートフィード使用時に紙が詰まった時」参照)
	細断屑が一杯になっていませんか?	細断屑を捨ててください。(P.11「細断屑の捨て方」参照)
	長時間、連続して細断していませんか?	主電源スイッチを「切」にして約45分間休ませてから再開してください。
	フィーダーカバーが閉じていますか?	フィーダーカバーを閉じて、電源ランプが点灯しているのを確認してください。
	ダストボックスが本体の中に入っていますか?	ダストボックスを本体の中に入れてください。
刃が回転しても細断しない	紙が給紙口の中央に入っていますか?	紙を給紙口の中央に入れてください。
	厚い紙や定格細断枚数以上の紙を細断していませんか?	定格細断枚数をお守りください。
オートフィードでA4、B5サイズの紙が送られない	給紙口に紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。(P.8「紙が詰まった時」参照)
	紙が奥までしっかりセットされていますか?	紙を揃えて奥までしっかりセットしてください。
	フィーダーカバーが閉じていますか?	フィーダーカバーを閉じて、電源ランプが点灯しているのを確認してください。
細断が途中で止まる	紙が給紙口、排出口に詰まっていますか?	紙を取り出してください。(P.8「紙が詰まった時」参照)
	紙が斜めに入っていないですか?	
	給紙口の幅より大きな紙を入れていませんか?	給紙口の幅より小さく折って入れてください。(折った時に定格細断枚数以上にならないようにします。)
	湿った紙を入れていませんか?	湿った紙は入れないでください。
	定格細断枚数以上の紙を細断していませんか?	定格細断枚数をお守りください。
	ゼムクリップやステープラーの針を細断していませんか?	紙以外のものは細断しないでください。(P.6「故障の原因となるため、絶対にお守りください」、P.8「紙が詰まった時」参照)
	紙にシールやのり、フィルム等がついていませんか?	
本体が熱い	長時間、連続して細断していませんか?	主電源スイッチを「切」にして約45分間休ませてから再開してください。
刃の回転が止まらない	給紙口に紙が詰まっていますか?	主電源スイッチを「切」にし、必ずプラグをコンセントから抜いて、ピンセットなどで、詰まった紙を取り出してください。

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店へ下記の事項をできるだけ詳しくご連絡ください。

①故障状況 ②品番「S49MF」 ③ご購入年月日(保証書に記入されています。)

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理やご不明な点などのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

※本機を分解されますと、保証が無効になります。

■修理を依頼される時は

P.13「故障かな?と思われた時」をご確認ください。それでも異常がある時は、使用をやめてお買い上げの販売店に保証書を添えてこの製品を「お持ち」のうえ、修理をお申し付けください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきます。

●保証期間を過ぎている時は

修理によりご使用できる場合には、ご要望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、基本料・技術料・部品代等で構成されています。

基本料:診断・点検等の費用です。

技術料:故障した製品を正常にするための修理・調整等の作業にかかる費用です。

部品代:修理に使用した部品代金です。

■出張修理は行っておりません。

点検や修理の発送のために外箱・緩衝材(発泡材・段ボール等)を保管しておいてください。

■お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターへお申し付けください。

お願い 修理を依頼される時は、付属品も一緒にお持ちください。

■便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のシュレッダーの点検を!
	「ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。」 このような症状はありませんか ●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。 ●電源コードに傷があったり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常な発熱、異音、異臭がする。 故障や事故防止のために、主電源スイッチを「切」にし、コンセントからプラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

保証内容（修理規定）

1. 取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの使用上の注意に従った使用方法で保証期間内に故障した場合には、**無料修理**をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書と、お買い上げが証明できる領収書やレシートを「お持込」のうえ、修理をお申し付けください。
(ロ) お送りいただく場合の梱包・輸送の費用などはお客様のご負担となります。
2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下などによる故障・損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障・損傷。
(ニ) 車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店または、株式会社アスカのカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

マイクロカットオートフィードシュレッダー S49MF

保証書

持込修理

お客様	お 名 前	様		
	ご 住 所	〒		
	電 話 番 号	()	—	
	お買い上げ日	年	月	日
販売店名・住所・電話番号				
印				
電話() —				

品 名 マイクロカットオートフィード
シュレッダー

品 番 S49MF

保証期間 お買い上げより1年間

〈ご販売店にお願い〉
左記に記入または捺印のない場合は、
必ず販売店様発行の領収書など、お
買い上げの年月日、店名などを証明す
るものをお貼りください。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター ☎ 03-5690-9412
受付時間: AM10:00~12:00/PM1:00~5:00
月曜日~金曜日
(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

保証書にご記入いただきました個人情報の取扱について

お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報(お名前、ご住所、電話番号)は保証期間内のサービスの目的にのみ利用させていただきます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲をこえて利用することはありません。業務上必要な範囲をこえて、個人情報を第三者(修理委託先は除く)に開示または提供いたしません。

修理メモ